

学校関係者評価 様式 1

平成 27 年度	文京区立 昭和 小学校	学校関係者評価報告書
評価委員：委員長	棚橋嘉勝	(副委員長)
委員	大塚嘉一	藤井克彦 中山 睦 高山亜紀 酒井康弘
評価時期	平成 27 年 11 月～平成 28 年 2 月	
<p>1 統括的意見</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度東京都人権尊重教育推進校として 2 月 12 日（金）に発表を行った。2 ブロックの学校区内の先生方 136 名が参加し、本校の人権教育の取組を報告できた。子供たちの熱心な取組は高く評価された。 校長、副校長は良くやっている。課題に対して素早い対応ができています。（委員長より） <p>2 肯定的な意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学びの充実 <ul style="list-style-type: none"> 少人数指導の成果が表れてきている。これからもつづけてほしい。 学習の約束事が身につけてきている。 指導力のある先生方が多いように思う。子供が喜んで通っている。 ○ 心の教育 <ul style="list-style-type: none"> 人権尊重教育推進校の取組により、相手を思いやる気持ちや偏見や差別をしない心情が少しずつ育ってきている。今後も続けてほしい。 アサーションの取組はよい。クラス、学年での計画的な取組をしてほしい。 ○ 家庭、地域との交流 <ul style="list-style-type: none"> 学校支援本部の方が行う、朝遊び、放課後遊び（週に 2 回）は毎回多くの児童が参加しボランティアの方々との交流もある。今後も続けてほしい。 2 月 20 日（土）に行われた「餅つき大会」では親子合わせ約 400 人が参加した。途中降雨があったが、町会の方々、PTA の方々のご協力により無事終了した。 ○ 特色ある教育活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> 六義園グラウンドは 1 月に学年順番に「6 分間走」を行った。一週 200 回のトラックを 6 分間各自のペースで走り、何周できたかを確認した。グラウンドの状況が心配だった。（霜の影響） <p>3 今後の改善に向けた意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学びの充実 <ul style="list-style-type: none"> 保護者ボランティアを活用した、読み聞かせや英語活動（低学年）は継続していく。今後地域の歴史や戦争の話など、外部指導員や、地域の方々に協力していただき充実させていく。 本校の課題である「体力向上」を目指し、週に一回の運動朝会の内容の見直しと、日々の体育授業の改善を目指していく。運動量を多くした活動と多様な動きを取り入れた活動の充実を目指す。 ○ 社会の一員としての生活ができる 		

- ・ 子供同士、子供と教師のコミュニケーション能力の充実に努めていく。学級では話し合い活動の充実のため水島指導教諭の授業観察、学級会のルール作りなど、話し合いの基礎基本を徹底させていく。また、休み時間の子供と教師の交流を意識させ、時間の許す範囲休み時間を活用し、子供との交流をさせる。

- ・ 月に一回の学年集会ではアサーションの取組をさせていく。

○道徳教育の充実

- ・ 人尊校の報告会は終了したが、引き続き普遍的な視点からの内容と個別的な視点からの内容を取り入れた道徳教育を推進していく。
- ・ 道徳授業地区公開講座での保護者との意見交換や、保護者を対象とした教育課題に関する講演会など充実させていく。

4 その他の意見

- ・ 学校支援知己本部のスタッフを増やし、朝遊びや放課後遊びの回数を増やしていきたい。
- ・ 来年度も12月の保護者会を土曜公開日に行う。
- ・ 子どもの皆勤賞について、保護者から「なぜ皆勤賞なのに努力児童に選ばれないのか」という質問があり、各担任は戸惑いを感じている。来年度検討していきたい。

※意見が多くなる場合は、2枚以上も可。